

# 雪わり草

安曇野赤十字病院広報誌



日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society

2023 66号

## Contents

- 01 院長就任あいさつ
- 02 血管内治療センター開設について
- 03 地域の診療所紹介
- 04 着任者紹介、トピックス



表題（愛称）雪わり草

冬の厳しさに耐え  
春の訪れを告げるように  
雪を割って可憐な花を  
咲かせる雪わり草。  
この小さな花の希望を持って  
逆境に耐え抜く力強さを  
紙面に載せ、地域の皆さまへ  
お届けしたく  
「雪わり草」と名付けました。  
花言葉：忍耐・信頼・はにかみやなど

## 写真解説

### 花菖蒲（安曇野市明科）

安曇野市明科のあやめ公園・龍門淵公園では、紫や白、黄色といった色とりどりの花菖蒲が雄大な北アルプスを背景に咲き誇ります。今年は6月17日（土）～6月18日（日）、『第39回信州安曇野あやめまつり』が開催されました。



## 院長就任のご挨拶



院長 木下 修

このたび、日本赤十字社安曇野赤十字病院の九代目院長に就任いたしました。

令和2年より所謂コロナ禍に入り、行政の要請に応じ安曇野地域の新型コロナウイルス感染症患者の入院受け入れを開始しました。当初はマスクや防護衣が足りず、職員が手作りをして賄いました。続いて発熱外来設置、病院建物外に設置する規定のため寒い冬場は患者さんも、職員も凍えました。さらに年に数回、院内クラスターが発生、入院患者も職員も次々と感染し、予定入院患者さんに、やむを得ず入院延期をお願いする状態に何度も見舞われました。疲弊した職員の離職も相次ぎました。それでも中野前院長を筆頭に職員一丸となり、何とか乗り越えることができました。先日の新聞に「安曇野赤十字病院、連続赤字」と報道されましたが、コロナ対応を懸命に行っている病院が黒字になることはありません。

コロナ禍を経て、世の中のシステムが急速にデジタル化に進み、医療も遠隔診療、電子処方箋、AI診断、ロボット手術の時代に急速に向かっています。しかし、「人間を救うのは人間だ」という赤十字のスローガン、「博愛これを仁という、仁とは人を慈しむこと」という佐野常民の言葉、「私たちは、苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、いかなる状況下でも、人間の命と健康、尊厳を守ります」という日本赤十字社の使命のもと、地域の住民や医療機関の方々に親しまれ、信頼される病院を目指して安曇野赤十字病院はこれからも進みます。皆様のご指導とご支援をよろしくお願いいたします。

この広報誌は地球にやさしい再生紙を使用しています。

## 血管内治療センターを開設いたしました。

### ●拡大し続ける循環器需要

我が国は、少子高齢化が進むとともに、いわゆる動脈硬化に関連する疾患を有する患者さんの数が年々増加しています。安曇野市も例外ではなく、循環器疾患で治療を必要とする患者さんの数は今後も増加の一途をたどることが予想されています。



血管内治療センター長

永江 歩

### ●当院循環器内科の地域の中での役割

当院は安曇野市にある、唯一の血管造影室（カテーテル検査室）、集中治療室を備えた総合病院です。循環器疾患、なかでも急性心筋梗塞は発症から速やかな治療が必要であり、時間との勝負でもあります。救命のためには、発症→診断→治療を迅速に行う必要があるとされており、安曇野市の患者さんは、松本の病院までいかずに安曇野市で速やかに治療が行える医療体制の構築が、今後ますます必要になってくると考えています。

### ●血管内治療センター開設

そこでこの度当院は、血管内治療センターを開設し、緊急性のある患者さんに、365日24時間対応できる体制の整備を致しました。当院救急部医師と連携し、迅速に診断→治療までのプロセスを進めてまいります。また、状況に応じて信州大学附属病院と連携しながら、質の高い医療の提供いたします。



血管内治療センター

### ●対応できる疾患

血管内治療センターで対応できる動脈硬化性疾患は以下のとおりです。

- 狭心症/心筋梗塞**：心臓の血管が狭窄・閉塞してしまう病気  
症状)胸痛、運動時のひどい息切れ、動悸 など
- 閉塞性動脈硬化症**：手足の血管が狭窄・閉塞してしまう病気  
症状)手足の冷感、傷の治りづらさ、運動時の手足のしびれ・痛み・だるさ など
- 腎動脈狭窄症**：腎臓の血管が狭窄・閉塞してしまう病気  
症状)進行する腎機能障害、難治性高血圧 など  
もちろん、高血圧症、脂質異常症、心不全など、その他の疾患についても、当院循環器内科として、365日24時間対応いたします。



### ●原因となる疾患等

以下のようなものが、動脈硬化疾患のリスクとなりえます。

- ①高血圧症
- ②脂質異常症
- ③糖尿病
- ④高尿酸血症
- ⑤喫煙

★上記のような症状のある患者さん、またリスクをお持ちの患者さんは、いつでもご相談ください。直接受診いただいても、かかりつけの先生からご紹介いただいても結構です。

毎号地域の診療所を紹介させていただいております。かかりつけ医の参考にいただければ幸いです。

## 安曇野形成皮ふクリニック

院長 高橋 信行 医師

〒399-8205  
安曇野市豊科 2661-1  
TEL 0263-71-2345



### OutLine

【診療内容】 形成外科・皮膚科

【診療時間】 午前 9:00~12:00  
午後 15:00~18:00

※初診の方は終了時間30分前までの受付

※土曜日最終受付時間は16:30

【休診日】 木曜、日曜、祝日

## インタビュー

### ―開業にあたって―

安曇野市発足年の3月に開院いたしました。おかげさまで開院から満18年経ちました。法律が変わったこともあって成人式を迎えたことになりました。3人の子供が豊科赤十字病院で産声をあげたこと、前任地が飯山赤十字病院だったことなど縁があったのだと思います。また、安曇野赤十字病院前院長は信州大学医学部入学時の1年先輩、歴代の院長先生はじめ各科先生の中には県内病院で同僚として一緒に過ごしていた方々との再会もあって心強い限りです。

### ―診療所の専門、特色―

開業前は形成外科学会専門医として病院勤務をさせていただいていたので形成外科全般について、なかでも重傷熱傷の治療に熱傷学会専門医として携わってまいりました。クリニックとしてできることはさすがに限定されることとなり、比較的軽症の熱傷・外傷・小手術などの形成外科領域と、一般皮膚科領域の診療などが主な守備範囲です。

大きな手術やより専門的かつ高度な治療が必要と思われる患者様においては後方支援を信州大学医学部附属病院形成再建外科および皮膚科、長野県立こども病院、相澤病院、安曇野赤十字病院にお願いすることで最適な治療環境を提供できるよう心がけています。日々の診療に忙殺されていて、自身の意に反して必ずしもご希望に添えな

ったこともあったかと冷や汗をかく場面が思い出されます。

### ―趣味は―

高校まで東京に住んでいて、信州大学入学をきっかけにスキーを始めました。前任地である飯山赤十字病院ではスキーを楽しむには最適な環境だったこと、開業後も平日の休診日を有効活用できたことで細々と続けることができました。今春には、念願だった孫娘とのスキーデートを楽しむ機会がありました。また、趣味とまではいえませんが、常念岳の前景として特急あずさが通過する時刻を見計らって写真を撮っておりま。田んぼに水が入り天候に恵まれたときに常念とあずさを水鏡に写し込めたら最高ですね。



処置室



高橋信行院長先生

### ―地域に向けて―

昨今のコロナ禍で、社会情勢や医療現場を取り巻く環境は大きく変わりました。自ら出向く「Face to Face」で情報交換する機会が極めて限定されました。IT化が進み「By Face」環境で生きていくことを余儀なくされている感はありません。そんな中ではあります、クリニックの存在意義(価値)、何かしからお役に立てる場面がある限りは微力ながらもまだまだ頑張る所存です。何なりとご相談いただけるよう敷居を低く門を広く開けてお待ちしております。



笑顔で迎えて下さった院長先生お忙しい中ありがとうございました。クリニックは雄大な北アルプスを望む眺望の開けた立地にあります。当院からも近く「ごころ」から大変お世話になっております。院長先生をはじめ皆様のますますのご活躍をご祈念いたします。

## 着任者紹介



集中治療部副部長  
望月 勝徳

以前より救急部の非常勤としてお世話になっておりましたが、この4月より常勤として集中治療部に配属となりました救急科の望月と申します。これまで、信州大学や大阪医科薬科大学および豪州モナッシュ大学で、救急集中治療医学や臨床研究の研鑽を積んでまいりました。こちらは、これまでも何度か常勤としてお世話になっており、医師としてのスタートを切った病院でもあります。少しでも地域の皆様のお役に立てよう頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。



循環器内科医師  
藤森 弘樹

4月から諏訪赤十字病院から赴任しました藤森弘樹と申します。循環器内科として心疾患、末梢動脈疾患、またそれらの原因となる高血圧症や脂質異常症といった分野を中心に診療しております。日々の生活に関わるものから緊急疾患まで扱う疾患は幅広いですが、患者様やそのご家族と一緒に治療していきたいと考えております。よろしくお願いいたします。



外科医師  
黒岩 雄大

本年4月から赴任しました外科の黒岩 雄大と申します。7年目になります。昨年度は信州大学に勤務しておりました。主に消化器外科領域を担当させていただいています。出身は長野市で、大学時代は三重県に住んでいました。大学卒業とともに長野県に戻り、県内の病院に数力所勤めてきました。安曇野の美しい景色に囲まれて働かせていただけることに感謝しております。まだまだ未熟ですが地域の医療に貢献できるよう全力で頑張ります、よろしくお願いいたします。



腎臓内科医師  
箱田 あんな

4月から安曇野赤十字病院腎臓内科に着任いたしました箱田あんなと申します。卒後4年目で昨年は信州大学医学部附属病院に勤務しておりました。出身は東京で大学時代は山形で過ごしました。このたび縁あって安曇野で働くこととなりましたが、諸先生方、スタッフの皆様、患者様の優しい人柄に支えられ、日々の診療を行っております。腎疾患、透析分野の入院・外来・透析管理を担当いたします。まだまだ未熟ですが微力ながらも地域の皆様に貢献できるよう精一杯精進して参ります。皆様何卒よろしくお願いいたします。

## トピックス

### 病院機能評価(3rdG:Ver2.0) (一般病院2) 認定

安曇野赤十字病院では、公益財団法人日本医療機能評価機構による「病院機能評価(3rdG:Ver2.0) (一般病院2)」を受審し機構の定める認定水準を達成してであると認められ、2023年5月12日付けで認定を受けております。

2005年11月の認定から4回目の認定です。

今回の評価内容を活かして今後も当院の理念であります「医療を通じた地域貢献」の実現に向けて一層の努力を行ってまいります。

#### 病院機能評価認定証

日本医療機能評価は、医療施設の機能について中立的・科学的な第三者評価をし、国民の健康と福祉の向上に寄与することを目的として行われています。

詳細は公益財団法人 日本医療機能評価機構ホームページをご覧ください。

